

鹿追町開町92年記念式典

4月1日、「鹿追町開町92年記念式典」(町主催)が町民ホールで開催されました。

式では、開拓者と東日本大震災の被害者に黙とうをささげたあと、吉田弘志町長が「先輩諸氏のご尽力により今日の輝かしい鹿追町の礎を築

き上げられたことに感謝いたします。町民皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めます」と式辞。続いて、表彰状の贈呈が行われ、自治

社会の各功労賞のほか顕彰、まちづくりに貢献された方々計64の個人・団体に対し表彰状が贈られました。



(右) 町づくり貢献受章



謝辞を述べる堀川昌廣さん

来賓の埴淵賢治町議会議長と原口義寛陸上自衛隊鹿追駐屯地司令による祝辞のあと、受賞者を代表して自治功労賞受賞の堀川昌廣さんが「この大きな賞は私一人のものではございません。地域の方々、町民の方々、諸先輩など多くの方のご指導、ご支援のおかげです。これからは微力ではありますがありますが、鹿追町の発展のために努力していきたいです」とお礼のあいさつを述べました。

(敬称略)

【自治功労賞】

堀川昌廣

昭和10年6月12日生
平成3年5月に地域住民の衆望を担って鹿追町議会議員に当選以来、平成23年4月まで連続5期20年の永きにわたり町政に参画され、この間、議会議長委員委員長さらには平成15年5月から副議長を、平成19年5月から4年間議長の要職を歴任され、その卓越した識見により本町自治の進展に多大な貢献をされました。

葛原 昇

昭和13年9月10日生
平成7年5月に地域住民の衆望を担って鹿追町議会議員に当選以来、平成23年4月まで連続4期16年の永きにわたり町政に参画され、この間、監査委員さらには平成19年5月から4年間副議長長の要職を歴任され、そ

の卓越した識見により本町自治の進展に多大な貢献をされました。



【社会功労賞】

高橋行夫

昭和2年10月29日生
昭和59年に鹿追町郷土史研究会初代会長に就任以来、24年の永きにわたり郷土資料の記録、収集にご尽力され、さらに鹿追町史(70年史)の執筆者として編纂作業にあたられ、文化振興に貢献されました。また、平成2年にクテクウシゆうほ村初代事務局長として就任以来、現在に至るまで会をまとめ、協働のまちづくりの先駆者として環境美化活動に寄与されました。

常清正廣

昭和25年4月18日
昭和55年に鹿追消防団に入団以来、28年の永きにわたり、常に第一

線に立ち、身の危険をも顧みず勇猛果敢な行動で被害の軽減にご尽力されました。



【顕彰】

上原志津佳

平成5年11月12日生
平成24年1月にオーストリアで開催されたユースオリンピック第1回冬季大会において、本町初のオリンピック選手として、ボブスレー女子二人乗り競技に出場され8位の成績を収められました。



【感謝状】

東原 誠太郎

地域福祉基金に多額のご寄付をいただきました。

鹿追貨物自動車(株)

代表取締役 市川 政道

地域福祉基金に多額のご寄付をいただきました。

清水 孝司

地域福祉の基金に多額のご寄付をいただきました。

土井 清夫

町づくり基金に多額のご寄付をいただきました。



【叙勲・各大臣表彰受賞者紹介】

◇旭日単光章

松本 健次

昭和58年5月に鹿追町監査委員に就任以来、5期20年の永きにわたり

豊富な経験と卓越した識見をもって健全な町の行財政運営にご尽力されました。
(平成23年11月3日受賞)

◇瑞宝単光章

下川 勝治

昭和23年以来、国や道が実施する各種統計調査の調査員として60年以上の永きにわたり円滑・迅速・正確な調査にご尽力されました。
(平成23年4月29日受賞)

石田 武則

昭和41年3月に陸上自衛隊に入隊以来、平成16年8月に退官されるまで国土防衛の第一線で活躍され、また災害救助をはじめとする危険業務にご尽力されました。
(平成23年11月3日受賞)

◇総務大臣表彰

坂上 隆太郎

永きにわたり鹿追町公平委員並びに北十勝消防事務組合公平委員として、公正な人事行政の確立にご尽力されました。
(平成23年10月28日受賞)